



<東久留米市データ>

東久留米市は、東京北部に位置し、畑面積は東村山市に次ぐ大きさです(212ha、平成17年)。もともとダイコンの生産が盛んでしたが、近年はダイコンの価格が低迷していることから、春はトウモロコシ栽培への移行が進んでいます。



あまいんです

JA 東京みらい東久留米支店・トウモロコシ部会の取り組み

今回お話を伺った JA 東京みらい東久留米支店・トウモロコシ部会は、2005年に結成されました。翌年からは高野部会長を中心に、品種統一に向けて動き出しました。



「あまいんです」を手に笑顔の高野部会長(左)と、小島トウモロコシ担当

高野部会長に伺った

「あまいんです」評価のポイント

①今年は倒伏が極めて少なく済んだ

「昨年使った品種は樹が細く倒伏の被害が大きかったので、倒伏への強さは大事なポイントでした。」

②ボリューム感が抜群

「穂重が450gを超えてきますね。出荷基準をクリアできるかできないか、余計な心配をせずに済みます。」

③見た目が美しい

「収穫後まで果皮の緑色が鮮やかで、いかにも新鮮といった印象を受けます。収穫後すぐに黄色く変色すると、老化したように見えて売れにくいからです。」

「あまいんです」品種説明会、収穫前現地検討会を実施!

当部会の2007年夏の栽培品種選定にあたり、依頼を受けて1月下旬に品種説明会を開催いたしました。部会の皆様は非常に研究熱心で、生育終盤に全部会員の畑を巡回するツアーを企画・実行し、お互いのトウモロコシ栽培の研鑽に努められる姿は、弊社としても頭が下がる思いがしました。



圃場巡回中のトウモロコシ部会の皆様

東久留米支店・小島担当の話

ボリュームがあって、16度を超える糖度をもつ品種特性だけではなく、歯につきにくい食感も大いに気に入っている。色は若干淡いが、まったく気にならない。今年は本当にいい品種を紹介してもらったと思っている。

